



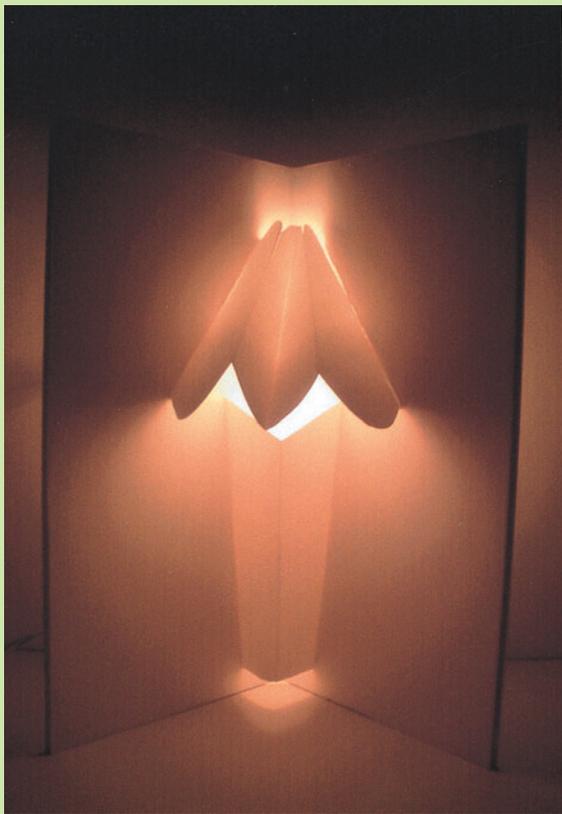
独立行政法人 大学評価・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and University Evaluation

機構ニュース

第 44 号

2007 Winter



「飛び出す照明器具のデザイン」 星 綾香

主な記事

- | | | | |
|-------------------------------|---|-------------|----|
| ◆大学評価事業の状況 | 1 | ◆機構の窓 | 10 |
| ◆学位授与事業の状況 | 6 | | |
| ◆『機構ニュース』をご愛読いただいている皆様へ | | | 17 |

目 次

◆大学評価事業の状況

■大学機関別認証評価について

- 平成19年度申請状況について 1
- 訪問調査の実施 1
- 「大学機関別認証評価に関する自己評価担当者に対する研修会」の開催 1

■短期大学機関別認証評価について

- 平成19年度申請状況について 2
- 訪問調査の実施 2
- 「短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者に対する研修会」の開催 2

■高等専門学校機関別認証評価について

- 平成19年度申請状況について 2
- 訪問調査の実施 3
- 「高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者に対する研修会」の開催 3

■法科大学院認証評価について

- 平成19年度申請状況について 4
- 訪問調査の実施 4
- 「法科大学院認証評価に関する自己評価担当者に対する研修会」の開催 5

■国立大学教育研究評価について 5

◆学位授与事業の状況

■短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 2,345人から学士の学位授与の申請 -平成18年度10月期申請分- 6

■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

- 21人から博士の学位授与の申請 -大学院博士課程相当の課程修了者- 7

■専攻科の認定

- 短期大学・高等専門学校の専攻科（平成19年度認定の申出状況） 7

■教育の実施状況等の審査

- 教育施設（各省庁大学校）の課程 7
- 短期大学・高等専門学校の専攻科 8

◆機構の窓

- 会議の開催状況 10
- 研究部研究会開催状況 11
- 日豪交流職員等が機構を訪問 11
- 公開講演会「高等教育における中国の躍進」を開催 12
- タイ王国教育省高等教育委員会一行が機構を訪問 13
- インド高等教育評価機関アドバイザーが機構を訪問 13
- 自衛消防訓練の実施 14
- 永年勤続者表彰 14
- 「ロゴマーク」、「ロゴタイプ」の商標登録 15
- 平成18年度「英会話研修」の実施 16
- 委員の異動（平成18年10月～平成18年12月） 16
- 人事異動（平成18年10月～平成18年12月） 16

～機構ニュースをご愛読いただいている皆様へ～

「機構ニュース」は第45号（2007年2月発行予定）より、今までの冊子体での発行から当機構Webサイトにおいて電子媒体としての発行へと発行方法を変更させていただきます。

詳しくは巻末17ページをご覧ください。

大学評価事業の状況

大学機関別認証評価について

○平成19年度申請状況について

平成19年度に実施する大学機関別認証評価について、国立37大学、私立1大学からの申請を受けました。

【国立大学】

室蘭工業大学、旭川医科大学、北見工業大学、東北大学、福島大学、千葉大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学、横浜国立大学、新潟大学、上越教育大学、金沢大学、山梨大学、信州大学、岐阜大学、浜松医科大学、名古屋大学、愛知教育大学、三重大学、京都大学、大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良女子大学、和歌山大学、鳥取大学、岡山大学、鳴門教育大学、愛媛大学、高知大学、九州大学、長崎大学、宮崎大学、鹿児島大学、鹿屋体育大学、総合研究大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学

【私立大学】

大妻女子大学

○訪問調査の実施

平成18年10月11日（水）から12月6日（水）まで、大学機関別認証評価の対象10大学に対して、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、大学関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象大学の状況を調査すること等

を目的とした訪問調査を実施しました。今後は書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

<訪問調査>

対象大学	実施期間
沖縄県立芸術大学	平成18年10月11日（水）～10月13日（金）
弘前大学	平成18年10月16日（月）～10月18日（水）
京都教育大学	平成18年10月23日（月）～10月25日（水）
徳島大学	平成18年10月24日（火）～10月26日（木）
奈良県立医科大学	平成18年10月30日（月）～11月1日（水）
東京農工大学	平成18年11月7日（火）～11月9日（木）
秋田大学	平成18年11月15日（水）～11月17日（金）
山形大学	平成18年11月20日（月）～11月22日（水）
岩手大学	平成18年11月27日（月）～11月29日（水）
沖縄県立看護大学	平成18年12月4日（月）～12月6日（水）

○「大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会」の開催

平成18年11月6日（月）に、平成19年度実施の機関別認証評価及び選択的評価事項に係る評価を申請した大学の自己評価担当者等を対象として、自己評価書の作成などについて説明を行うとともに、参加者との質疑応答などを通じて関係者の自己評価の方法及び自己評価書の作成方法など評価に対する理解をより一層深めることを目的として、「自己評価担当者等に対する研修会」を開催しま

した。

当日は、国立37大学、私立1大学の合計38大学から参加があり、荻上教授による評価基準の分析及び自己評価書作成に当たっての留意点等の説明があり、参加者との間で質疑応答が行われました。

なお、当日の配付資料については、当機構のウェブサイト (<http://www.niad.ac.jp/>) に掲載しています。

短期大学機関別認証評価について

○ 平成19年度申請状況について

平成19年度に実施する短期大学機関別認証評価について、公立1短期大学、私立1短期大学からの申請を受付けました。

【公立短期大学】

山形県立米沢女子短期大学

【私立短期大学】

大妻女子大学短期大学部

○ 訪問調査の実施

平成18年10月18日（水）から10月20日（金）まで、短期大学機関別認証評価の対象1短期大学に対して、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、短期大学関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象短期大学の状況を

調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。今後は書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

<訪問調査>

対象短期大学	実施期間
川崎市立看護短期大学	平成18年10月18日（水）～10月20日（金）

○ 「短期大学機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会」の開催

平成18年11月6日（月）に、平成19年度実施の機関別認証評価及び選択的評価事項に係る評価を申請した短期大学の自己評価担当者等を対象として、自己評価書の作成などについて説明を行うとともに、参加者との質疑応答などを通じて関係者の自己評価の方法及び自己評価書の作成方法など評価に対する理解をより一層深めることを目的として、「自己評価担当者等に対する研修会」を開催しました。

当日は、公立2短期大学、私立1短期大学の合計3短期大学から参加があり、荻上教授による評価基準の分析及び自己評価書作成に当たっての留意点等の説明があり、参加者との間で質疑応答が行われました。

なお、当日の配付資料については、当機構のウェブサイト（<http://www.niad.ac.jp/>）に掲載しています。

高等専門学校機関別認証評価について

○ 平成19年度申請状況について

平成19年度に実施する高等専門学校機関別認証評価について、国立19校、私立1校からの申請を受付けました。

【国立高等専門学校】

函館工業高等専門学校、苫小牧工業高等専門学校、秋田工業高等専門学校、鶴岡工業高等専門学校、福島工業高等専門学校、小山工業高等専門学校、群馬工業高等専門学校、東京工業高等専門学校、長岡工業高等専門学校、富山工業高等専門学校、石川工業高等専門学校、豊田工業高等専門学校、米子工業高等専門学校、津山工業高等専門学校、大島商船高等専門学校、高松工業高等専門学校、詫間電波工業高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、大分工業高等専門学校

【私立高等専門学校】

近畿大学工業高等専門学校

高等専門学校機関別認証評価について

○ 訪問調査の実施

機構では、平成18年10月11日（水）から11月29日（水）まで、高等専門学校機関別認証評価の対象18校に対して、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、高等専門学校関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対

象高等専門学校の状況を調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。今後は、書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

<訪問調査>

対象高等専門学校	実施期間
鳥羽商船高等専門学校	平成18年10月11日（水）～10月13日（金）
八代工業高等専門学校	平成18年10月11日（水）～10月13日（金）
佐世保工業高等専門学校	平成18年10月16日（月）～10月18日（水）
北九州工業高等専門学校	平成18年10月18日（水）～10月20日（金）
舞鶴工業高等専門学校	平成18年10月18日（水）～10月20日（金）
松江工業高等専門学校	平成18年10月23日（月）～10月25日（水）
呉工業高等専門学校	平成18年10月23日（月）～10月25日（水）
徳山工業高等専門学校	平成18年10月25日（水）～10月27日（金）
長野工業高等専門学校	平成18年10月30日（月）～11月1日（水）
岐阜工業高等専門学校	平成18年10月31日（火）～11月2日（木）
木更津工業高等専門学校	平成18年10月31日（火）～11月2日（木）
鹿児島工業高等専門学校	平成18年11月6日（月）～11月8日（水）
久留米工業高等専門学校	平成18年11月8日（水）～11月10日（金）
宇部工業高等専門学校	平成18年11月8日（水）～11月10日（金）
奈良工業高等専門学校	平成18年11月13日（月）～11月15日（水）
熊本電波工業高等専門学校	平成18年11月13日（月）～11月15日（水）
一関工業高等専門学校	平成18年11月27日（月）～11月29日（水）
弓削商船高等専門学校	平成18年11月27日（月）～11月29日（水）

○ 「高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会」の開催

平成18年11月22日（水）に、平成19年度実施の機関別認証評価及び選択的評価事項に係る評価を申請した高等専門学校の自己評価担当者等を対象として、自己評価書の作成方法などについて説明を行うとともに、参加者との質疑応答などを通じて関係者の評価に対する理解をより深めることを目的として、「自己評価担当者等に対する研修会」を

開催しました。

当日は、国立22校、公立2校、私立2校の合計26校から参加があり、冒頭の川口理事の開会挨拶の後、青木教授による各基準及び選択的評価事項の分析に当たっての留意点の説明、野澤教授による自己評価の方法等の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

法科大学院認証評価について

○ 平成19年度申請状況について

平成19年度に実施する法科大学院認証評価（本評価及び予備評価）について、国立11大学、私立3大学からの申請を受付けました。

<本評価>

【国立大学】

北海道大学大学院法学研究科法律実務専攻、千葉大学大学院専門法務研究科法務専攻、
一橋大学大学院法学研究科法務専攻、新潟大学大学院実務法学研究科実務法学専攻、
金沢大学大学院法務研究科法務専攻、香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科法務専攻、
九州大学大学院法務学府実務法学専攻、熊本大学大学院法曹養成研究科法曹養成専攻

【私立大学】

上智大学大学院法学研究科法曹養成専攻、専修大学大学院法務研究科法務専攻、
明治大学大学院法務研究科法務専攻

<予備評価>

【国立大学】

筑波大学大学院ビジネス科学研究科法曹専攻、信州大学大学院法曹法務研究科法曹法務専攻、
静岡大学大学院法務研究科法務専攻

○ 訪問調査の実施

平成18年10月30日（月）から12月13日（水）まで、法科大学院認証評価（予備評価）の対象13法科大学院に対して、書面調査で確認できなかった事項等を中心に、法科大学院関係者との面談、教育現場の視察及び学習環境の状況調査等により対象法

科大学院の状況を調査すること等を目的とした訪問調査を実施しました。今後は書面調査の結果に訪問調査で得られた知見を加えて総合的に判断し、評価結果の取りまとめを行います。

<訪問調査>

対象法科大学院	実施期間
北海道大学大学院 法学研究科法律実務専攻	平成18年10月30日（月）～10月31日（火）
近畿大学大学院 法務研究科法務専攻	平成18年11月6日（月）～11月7日（火）
広島大学大学院 法務研究科法務専攻	平成18年11月7日（火）～11月8日（水）
名古屋大学大学院 法学研究科実務法曹養成専攻	平成18年11月9日（木）～11月10日（金）
香川大学大学院 香川大学・愛媛大学連合法務研究科法務専攻	平成18年11月13日（月）～11月14日（火）
専修大学大学院 法務研究科法務専攻	平成18年11月16日（木）～11月17日（金）
東京大学大学院 法学政治学研究科法曹養成専攻	平成18年11月20日（月）～11月21日（火）
金沢大学大学院 法務研究科法務専攻	平成18年11月20日（月）～11月21日（火）
千葉大学大学院 専門法務研究科法務専攻	平成18年11月27日（月）～11月28日（火）
神戸大学大学院 法学研究科実務法律専攻	平成18年11月28日（火）～11月29日（水）
京都大学大学院 法学研究科法曹養成専攻	平成18年12月7日（木）～12月8日（金）
大阪大学大学院 高等司法研究科法務専攻	平成18年12月7日（木）～12月8日（金）
東北大学大学院 法学研究科総合法制専攻	平成18年12月12日（火）～12月13日（水）

○ 「法科大学院認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会」の開催

平成18年11月30日（木）に法科大学院を置く国公私立大学の自己評価担当者等を対象として、自己評価書の作成などについて説明を行うとともに、参加者との質疑応答など通じて関係者の評価に対する理解をより深めることを目的として、「自己評価担当者等に対する研修会」を開催しました。

当日は、国立17大学、公立2大学、私立12大学の合計31大学から参加があり、冒頭の山本理事の

開会挨拶、磯部特任教授による自己評価の方法及び各基準の分析にあたっての留意点の説明があり、その後、参加者との間で活発な質疑応答が行われました。

なお、当日の配付資料については、当機構のウェブサイト (<http://niad.ac.jp>) に掲載しています。

国立大学教育研究評価について

国立大学法人法の規定に基づき文部科学省の国立大学法人評価委員会からの要請を受けて行う評価の実施方法について、国立大学教育研究評価委員会及び同委員会ワーキンググループにおいて、継続的に審議を重ねています。

現在、大学等に作成を求める教育研究の状況についての実績報告書の作成要領（案）及び機構における教育研究評価の実施要項（案）について検討しています。

学位授与事業の状況

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 2,345人から学士の学位授与の申請

－平成18年度10月期申請分－

短期大学・高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等2,345人から、23専攻分野46専攻区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

これに基づき、機構長から平成18年11月10日（金）開催の学位審査会に学士の学位授与に係る審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、平成19年2月16日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には平成19年3月末までに、学士の学位が授与される予定です。

＜平成18年度10月期の申請者数＞

【基礎資格別】

基礎資格	申請者数(人)
短期大学卒業生	817
高等専門学校卒業生	1,374
専門学校修了者	115
大学中退者	21
飛び級	4
大学卒業生	12
外国資格	2
合計	2,345

【見込申請者の内訳】

区分	申請者数(人)
短期大学専攻科修了見込者	734
高等専門学校専攻科修了見込者	1,368
合計	2,102

【専攻区分別】

専攻分野	専攻区分	申請者数
文 学	国語国文学	6
	英語・英米文学	1
	歴史学	6
	心理学	1
教育学	教育学	187
神学	神学	2
社会学	社会学	1
	社会福祉学	1
教養	地域研究	2
	地域研究	1
学芸	科学技術研究	2
	社会科学	1
法学	法学	2
政治学	政治学	1
経済学	経済学	3
商学	商学	3
経営学	経営学	13
理学	数学・情報系	2
	物理学・地学系	2
	化学系	1
	生物学系	1
	総合理学	2
看護学	看護学	147
保健衛生学	検査技術科学	40
	臨床工学	3
	放射線技術科学	55
	理学療法学	11
	作業療法学	5
	言語聴覚障害学	1
鍼灸学	鍼灸学	3
栄養学	栄養学	110
工学	機械工学	363
	電気電子工学	427
	情報工学	133
	応用化学	138
	生物工学	24
	材料工学	33
	土木工学	166
	建築学	77
	社会システム工学	8
芸術工学	芸術工学	33
農学	農学	13
家政学	家政学	5
芸術学	音楽	82
	美術	215
体育学	体育学	12
合計	合計	2,345

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

○ 21人から博士の学位授与の申請

－大学院博士課程相当の課程修了者－

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている防衛医科大学校医学教育部医学研究科の平成18年9月修了者21人から、博士の学位授与申請がありました。

これに基づき、機構長から平成18年11月10日（金）開催の学位審査会に博士の学位授与に係る審査の付託があり、学位審査会では、論文の審査及び口頭試問を担当する専門委員会の指定が行われました。

専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、平成19年2月16日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には、平成19年3月末までに、博士の学位が授与される予定です。

<博士の学位授与申請者数>

認定課程名	専攻分野	申請者数(人)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	医学	21

専攻科の認定

○ 短期大学・高等専門学校専攻科（平成19年度認定の申出状況）

短期大学及び高等専門学校に設置された専攻科のうち、大学教育に相当する水準を有する等、機構が定める要件を満たすものの認定について、平成19年度の申出が平成18年9月30日で締め切られ、5校7専攻から認定の申出がありました。そのうち、短期大学は4校6専攻、高等専門学校は1校1専攻となっています。

これに基づき、機構長から平成18年11月10日（金）開催の学位審査会に専攻科の認定に係る審査の付託があり、学位審査会では、審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における教育課程等の審査を経て、平成19年2月16日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われる予定です。

教育の実施状況等の審査

機構が認定した各省庁大学校認定課程や短期大学・高等専門学校の認定専攻科については、原則として5年ごとに教育の実施状況等の審査を行っています。

○ 教育施設（各省庁大学校）の課程

本年度は、機構認定の教育施設のうち、2校4課程について教育の実施状況等の審査を行っています。各専門委員会における教員組織等の審査を経て、平成19年2月16日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われる予定です。

また、平成19年度は、機構認定の教育施設のうち、次の4校5課程が審査対象となっています。

(1) 大学の学部に対応する教育を行う課程

認定課程名	入学定員	修業年限
海上保安大学校本科	45	4年
気象大学校大学部	15	4年
職業能力開発総合大学校長期課程	200	4年

(2) 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	入学定員	修業年限
防衛大学校総合安全保障研究科	20	2年
職業能力開発総合大学校研究課程	40	2年

○ 短期大学・高等専門学校の専攻科

本年度は、短期大学の認定専攻科のうち15校15専攻及び高等専門学校の認定専攻科のうち10校23専攻について教育の実施状況等の審査を行っています。各専門委員会における教員組織等の審査を経て、平成19年2月16日（金）開催の学

位審査会で最終審査が行われる予定です。

また、平成19年度は、短期大学の認定専攻科のうち22校25専攻及び高等専門学校の認定専攻科のうち9校22専攻の計31校47専攻が審査対象で次表のとおりとなっています。

平成19年度教育の実施状況等の審査について (短期大学・高等専門学校の認定専攻科)

(適用年月日：平成4年4月1日・平成9年4月1日・平成14年4月1日)

1. 短期大学専攻科（22校25専攻）

	名 称	専 攻	設 置 者
1	埼玉県立大学短期大学部	助産学専攻	埼玉県
2	尚綱学院大学女子短期大学部	保育専攻	学校法人尚綱学院
3	水戸短期大学	税経専攻	学校法人田中学園
4	桐生短期大学	助産学専攻	学校法人桐丘学園
5	秋草学園短期大学	幼児教育専攻	学校法人秋草学園
6	聖徳大学短期大学部	福祉専攻	学校法人東京聖徳学園
7	青山学院女子短期大学	教養専攻	学校法人青山学院
8	昭和女子大学短期大学部	生活文化学専攻	学校法人昭和女子大学
9	白梅学園短期大学	福祉専攻	学校法人白梅学園
10	東京成徳短期大学	幼児教育専攻	学校法人東京成徳学園
11	日本赤十字武蔵野短期大学	助産学専攻	学校法人日本赤十字学園
12	山梨学院短期大学	食物栄養専攻	学校法人山梨学院
		保育専攻	
13	常葉学園短期大学	保育専攻	学校法人常葉学園
14	名古屋柳城短期大学	保育専攻	学校法人柳城学院
15	京都嵯峨芸術大学短期大学部	デザイン専攻	学校法人大覚寺学園
		美術専攻	
16	聖母女学院短期大学	児童教育専攻	学校法人聖母女学院
17	大阪キリスト教短期大学	神学専攻	学校法人大阪キリスト教学院
18	兵庫大学短期大学部	美術デザイン専攻	学校法人陸学園
19	鳥取短期大学	福祉専攻	学校法人藤田学院
20	鈴峯女子短期大学	栄養専攻	学校法人鈴峯学園
21	比治山大学短期大学部	幼児教育専攻	学校法人比治山学園
22	広島文化短期大学	音楽専攻	学校法人広島文化学園
		音楽演奏専攻	

2. 高等専門学校専攻科（9校22専攻）

名 称		専 攻	設 置 者
1	八戸工業高等専門学校	機械・電気システム工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		物質工学専攻	
		建設環境工学専攻	
2	奈良工業高等専門学校	機械制御工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		電子情報工学専攻	
		化学工学専攻	
3	和歌山工業高等専門学校	メカトロニクス工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		エコシステム工学専攻	
4	松江工業高等専門学校	生産・建設システム工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		電子情報システム工学専攻	
5	津山工業高等専門学校	機械・制御システム工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		電子・情報システム工学専攻	
6	宇部工業高等専門学校	生産システム工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		物質工学専攻	
7	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		電子工学専攻	
8	佐世保工業高等専門学校	機械工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		電気電子工学専攻	
		物質工学専攻	
9	都城工業高等専門学校	機械電気工学専攻	国（独立行政法人国立高等専門学校機構）
		物質工学専攻	
		建築学専攻	

教育の実施状況等の審査	短期大学専攻科	22校25専攻
	高等専門学校専攻科	9校22専攻
合計		31校47専攻

○ 会議の開催状況

評議員会

平成18年度（第8回）平成18年10月30日（月）

・議事

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| (1) 会長一任による国立大学教育研究評価委員会委員の追加発令について | (3) 評価事業について及び学位授与事業について |
| (2) 平成17年度業務実績の評価結果について | (4) その他 |

運営委員会

平成18年度（第10回）平成18年10月20日（金）

・議事

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| (1) 客員教員の選考について | (4) 評価事業について及び学位授与事業について |
| (2) 会長一任による各委員会委員等の追加発令について | (5) その他 |
| (3) 平成17年度業務実績の評価結果について | |

専門職大学院認証評価に関する検討会議

第4回 平成18年12月18日（月）

・議事

- | | |
|---------------------------|---------|
| (1) 専門職大学院の評価基準モデル(案)について | (2) その他 |
|---------------------------|---------|

国立大学教育研究評価委員会

第11回 平成18年10月2日（月）

・議事

- | | |
|----------------------|---------|
| (1) 今後の検討の進め方について | (3) その他 |
| (2) ワーキンググループの設置について | |

第12回 平成18年12月15日（金）

・議事

- | | |
|---------------------|---------|
| (1) 「実績報告書作成要領」について | (3) その他 |
| (2) 「評価実施要項」について | |

国立大学教育研究評価委員会ワーキンググループ

第1回 平成18年10月20日（金）

第2回 平成18年11月14日（火）

第3回 平成18年12月5日（火）

学位審査会

第3回 平成18年11月10日（金）

・議事

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| (1) 短期大学及び高等専門学校卒業生等に係る学士の学位授与の審査について | (4) 認定課程修了者に係る学士の学位授与の審査について |
| (2) 認定課程修了者に係る博士の学位授与の審査について | (5) 短期大学及び高等専門学校の専攻科に係る認定の審査について |
| (3) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査について | (6) その他 |

○ 研究部研究会開催状況

学位審査研究部研究会

講演会 平成18年12月19日(火)

・講演

(1) 「エラスムス・ムンドゥス・修士コースについて－フィンランドの観点から－」

〔フィンランド タンペレ大学高等教育グループリサーチ・ディレクターティモ・アーッレヴァーラ〕

フィンランドはOECDのPISA（国際学力比較調査）で初等中等教育の実績を示し、国際的に注目を集めている国ですが、高等教育にはどのような特徴があるのでしょうか。こうした関心から学位審査研究部では、来日中のアーッレヴァーラ（Timo Aarveaara）博士をお招きし、フィンランドの高等教育の概要をふまえて欧州連合（EU）の国際化戦略の一つであるエラスムス・ムンドゥス・プログラムについて講演していただきました。

いわゆるヨーロッパ高等教育圏の創設に向けてフィンランドでは学位制度の改革が進み、2005年からバチェラー（学士）、マスター（修士）の学位が導入されています。その一方で、EUのエラスムス・ムンドゥス・プログラムに参加し、ヨーロッパ内外の学生交流を進めてきました。エラスムス・ムンドゥス・プログラムはEUとヨーロッパ以外の国々の高等教育機関が協力して組織する大学院レベルの教育課程であり、ヨーロッパ高等教育の魅力を経世界的に高めることを目的としています。

人口530万人のフィンランドは日本と比べれば

小規模国家ですが、国土の面積はほぼ等しく、地理的に離れているとはいえ非英語圏である両国の国民性には共通する面が多々感じられたと、3か月の滞日経験を交えて話されました。少子高齢化が進み、高等教育への公的資金が削減される中で、質の高い教育をどのように確保すべきか、両国の高等教育にも共通の課題が少なくありません。

福祉国家フィンランドの今後の高等教育政策について行政学を専門とする立場から言及され、また、児童生徒の自発性と思考力の育成に重点を置いた初等中等教育の改革が大学生の学習姿勢に変化をもたらし、大学教員の教授法にも影響を及ぼしていることなど、文献からは窺うことのできない興味深いお話を聞くことができました。さらに、フィンランドの国力が勤勉かつ熱心な高度専門労働者に支えられており、高等教育関係者も（冬季には太陽の光がほとんど射さないこともあり）早朝5時半から夜11時まで働くことがよくあるという事例には驚かされつつ、活発な意見交換が行なわれました。

（文責：学位審査研究部 吉川裕美子）



○ 公開講演会「高等教育における中国の躍進」を開催

平成18年11月30日（木）に、KKRホテル東京において、当機構主催公開講演会「高等教育における中国の躍進」を開催しました。（後援：中華人民共和国駐日本国大使館教育処）

この公開講演会は、近年躍進著しい中国の高等教育分野に焦点を当て、中国の高等教育政策、高等教育の質保証についての最新の動向を関係者から直接話してもらうことにより、情報を共有し、日中両国の大学評価及び高等教育の発展に資することを目的として開催されました。（当日のプログラムは下記を参照）

3名の中国高等教育関係者の講演では、教育評価理論に関する研究・試行を重ね、今日の科学的・機能的な評価手法を構築したことや、大学院教育

に対し政府・省・大学の三者から成る監督体制により質を保証していること、さらに、大学内部の合理的な自己評価システムなど、評価者・被評価者両方の視点から具体的な話題提供がありました。

当日会場に集まった130名余りの参加者からは、講演を熱心に聞き入り、メモを取る姿が見られました。また、講演後の質疑応答では、3名の講演者に対して積極的に質問が出され、中国の高等教育分野への関心の高さが示されました。

最後になりましたが、今回の公開講演会の開催にあたり、ご参加、ご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

【公開講演会プログラム】

○開会挨拶

木村 孟（大学評価・学位授与機構長）

李 東翔（中華人民共和国駐日本国大使館公使参事官）

○講演「中国の高等教育及び高等教育教学評価」

劉 鳳泰（中国教育部高等教育局巡視員 兼 教育部高等教育教学評価センター所長）

○講演「大学院教育の質保証と監督」

任 増林（国務院学位委員会弁公室（教育部学位管理・大学院教育局）質量監督・情報課副課長）

○講演「質意識の確立と外部の質監督及び内部の質保証への取組み」

李 国強（同済大学副学長）

○まとめ

川口 昭彦（大学評価・学位授与機構理事）

○閉会挨拶

山本 順二（大学評価・学位授与機構理事）



劉鳳泰氏（中国教育部高等教育局巡視員 兼 教育部高等教育教学評価センター所長）による講演



公開講演会の様子

○ 日豪交流職員等が機構を訪問

平成18年11月16日(木)、文部科学省日豪交流職員であるブレット・パティンソン氏他2名が、日豪両国における高等教育の質保証等について意見交換をするため、小平の機構本部を訪問されました。

機構からは、川口昭彦理事他6名の職員が参加

し、機構の組織・運営、大学評価事業、学位授与事業などについて説明を行いました。引き続き、パティンソン氏からオーストラリアにおける高等教育の質保証システムについて説明があり、活発な意見交換が行われました。



ブレット・パティンソン氏(左手奥)らとの意見交換の様子

○ タイ王国教育省高等教育委員会一行が機構を訪問

平成18年11月24日(金)、タイ王国教育省高等教育委員会のジラニー・タンティラッタナフォン副委員長他4名が、大学評価や学位授与に関する情報交換のために機構竹橋オフィスを訪問されました。

機構からは、山本順二理事、古川佑子国際連携

センター客員教授などが対応し、機構の組織・運営、大学評価事業、学位授与事業などについて説明を行いました。タイ側からは機構が行う認証評価の結果公表方法や学位申請に使用できる科目の範囲等について熱心な質問があり、約1時間半にわたって有意義な懇談が行われました。



タイ王国教育省高等教育委員会一行との記念写真

○ インド高等教育評価機関アドバイザーが機構を訪問

平成18年12月19日(火)、インドの高等教育評価機関NAAC (National Assessment and Accreditation Council) アドバイザーであるラサ・ピライ氏が、大学評価に関する情報交換のために機構竹橋オフィスを訪問されました。

機構からは、川口昭彦理事、古川佑子国際連携

センター客員教授などが対応し、機構の組織・運営及び大学評価事業について説明を行いました。ピライ氏からは機構が行う大学評価について多くの質問がなされる一方、インドの大学評価に関する様々な情報提供もあり、約1時間にわたって有意義な懇談が行われました。



ラサ・ピライ氏(右手前)と機構教職員による懇談の様子

○ 自衛消防訓練の実施

小平地区自衛消防訓練を、東京消防庁小平消防署の協力を得て、平成18年10月25日(水)に実施しました。今年度は、一橋大学と合同訓練ということで小平国際キャンパス国際学生宿舎B棟3階補食室から午後3時に出火し、機構自衛消防隊が応援に駆けつけるといった想定のもと訓練を行いました。

訓練終了後には引き続き小平消防署の指導で演習を行い、多くの機構教職員が参加して実際に消火器の取扱を体験しました。

最後に、小平消防署からは「機構自衛消防隊は、昨年度の訓練の成果が表れている。」との講評がありました。



○ 永年勤続者表彰

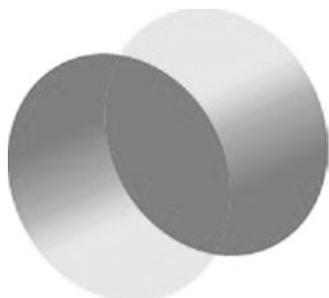
古田総務課長、筒井会計課総務係長、関谷情報課情報企画係長、田中評価第2課高専評価第3係長が独立行政法人大学評価・学位授与機構職員永年勤続者表彰規則に基づき、永年勤続表彰を受けられました。平成18年11月17日（金）機構会議室において木村機構長より表彰状が授与され、次いで機構からの記念品が贈呈されました。

この後、表彰を受けられた4名の方々は、木村機構長、川口理事、山本理事、後藤管理部長、加藤評価事業部長、桑原会計課長、亀井情報課長、八田評価第2課長、小柳津総務課課長補佐とともに記念写真を撮り、機構長よりお祝いと労いの言葉をいただいた後、謝辞を行い、思い出話や今後の抱負などについてひとときの間ご歓談されました。



向かって左上から、小柳津総務課課長補佐、八田評価第2課長、加藤評価事業部長、川口理事、山本理事、後藤管理部長、桑原会計課長、亀井情報課長
向かって左下から、田中評価第2課高専評価第3係長、古田総務課長、木村機構長、筒井会計課総務係長、関谷情報課情報企画係長

○ 「ロゴマーク」、「ロゴタイプ」の商標登録



大学評価・学位授与機構ロゴマーク
〔登録第4993097号〕

NIAD-UE

大学評価・学位授与機構ロゴタイプ
〔登録第4991300号〕

機構では、「大学評価・学位授与機構ロゴマーク」、「大学評価・学位授与機構ロゴタイプ」の商標登録査定を特許庁に申請していましたが、ロゴマークについては平成18年10月6日付けで、ロゴタイプについては平成18年9月29日付けでそれぞれ同庁長官による商標登録証が発行され、商標登録されました。

今後とも、「大学評価・学位授与機構ロゴマーク」、「大学評価・学位授与機構ロゴタイプ」をよろしく願います。

なお、商標登録された指定商品又は指定役務並びに商品区分及び役務の区分は以下のとおりとなっております。

第9類	電子出版物
第16類	印刷物
第35類	事業に関する援助・助言・情報の提供・調査・分析又は評価
第41類	技芸・スポーツ又は知識の教授に関する助言・指導及び情報の提供、セミナーの企画・運営又は開催、電子出版物の提供
第45類	研究論文に関する記事情報の提供、身の上相談

○平成18年度「英会話研修」の実施

英会話研修が平成18年11月から平成19年3月までの5ヶ月間の日程で行われています。

この研修は、過去2年度に実施した自己啓発研修「一般英会話」の実績を踏まえ、より実践的な英会話能力の向上を図り、実務運営の円滑化及び職員の志気高揚に資することを目的として実施するものであり、英会話学校に長期間通学し、個人のレベルに応じたラウンドアップレッスンを受講

する初の内容となっております。また、終了後には、研修の成果を確認するため、TOEICを受けることとしています。

現在、各課からの推薦により選ばれた3名の受講者が、週2回、英会話学校に通い、講師の指導のもとで機構以外の受講者ともふれ合いながら、熱心な中にも和やかな雰囲気を受講しています。



○委員の異動（平成18年10月～平成18年12月）

法科大学院認証評価委員会

・退任（平成18年10月25日）

氏名	現職	在任期間
出田 孝一	佐賀地方裁判所長	平成18年5月23日～平成18年10月25日

○人事異動（平成18年10月～平成18年12月）

年月日	氏名	異動内容		異動前等の職名
【管理部総務課】				
H18.10.1	前田 武士	文部科学省実務研修の研修先変更 高等教育局大学振興課大学設置室（大学院設置審査係）		大臣官房会計課経理班
H18.12.1	山川 涼子	配置換	評価事業部評価第3課（法人評価第3係）	管理部総務課（人事係）
【管理部情報課】				
H18.12.31	加藤 聡	退職		管理部情報課課長補佐
【管理部学位審査課】				
H18.10.1	橋本 秀人	出向	東京学芸大学（学務部学務課総務係）	管理部学位審査課
H18.12.31	千島 孝広	退職		管理部学位審査課
【評価事業部企画調整課】				
H18.10.31	浅見 宏信	退職（転出）	名古屋大学 （研究協力・国際部研究協力課長）	評価事業部企画調整課課長補佐
H18.11.1	多田 健太郎	出向	独立行政法人 国立大学財務・経営センター （総務部施設助成課施設助成係）	評価事業部企画調整課（企画調整第1係）
【評価事業部評価第1課】				
H18.10.1	小山 俊治	出向	一橋大学（学務部教務課）	評価事業部評価第1課
H18.10.19	荒木 英雄	退職（転出）	九州工業大学	評価事業部評価第1課（大学評価第1係主任）
【評価事業部評価第3課】				
H18.10.1	西多 亮子	出向	一橋大学 （総務部研究支援課研究協力係）	評価事業部評価第3課
H18.10.1	近藤 隆志	出向	電気通信大学 （総務部研究支援課研究協力係）	評価事業部評価第3課
【評価事業部法科大学院評価第課】				
H18.12.31	八塚 紫	退職（転出）	筑波大学	評価事業部法科大学院評価課 （法科大学院評価第2係）

～『機構ニュース』をご愛読いただいている皆様へ～

「機構ニュース」は第45号（2007年2月発行予定）より、今までの冊子体での発行から当機構Webサイトにおいて電子媒体としての発行へと発行方法を変更させていただきます。

また、今まで年4回であった発行を、毎月の発行といたします。

今後は、Webサイトにおける電子媒体としての発行により、これまでの冊子体にはなかったWebサイトと連動した様々な情報の提供が可能となります。

なお、Webサイトにおける電子媒体としての発行に伴い、今後は『機構ニュース』の製本・配布を行わないこととさせていただきます。

何卒ご理解、ご協力賜りますとともに、引き続き『機構ニュース』をご愛読くださるようよろしくお願い申し上げます。

○機構Webサイトでの『機構ニュース』掲載ページのURLアドレスは以下のとおりです。

http://www.niad.ac.jp/n_shuppan/news/index.html



編集後記

◇ 2007年最初の「大学評価・学位授与機構ニュース」をお届けします。
誌面で御案内したとおり、機構ニュースは次号から毎月1度の発行となり、皆様にお届けする方法も従来の冊子体からWeb上での掲載に変わります。機構の活動状況をより迅速に、幅広く情報発信できるようになりますので、引き続き御愛読いただきますようお願いいたします。

◇ 2007年といえば、教育の世界でも「2007年問題」という言葉が話題になっていました。数年前の推計で2007年には大学進学希望者数と大学全体の入学定員が一致し、数字上では「大学全入時代」になるというのです。結果的には、そのような状況になるのはもう少し先であることが判明したようですが、何れにしても大学入学に関する大学と志願者の立場が、以前とは変化してきているようです。

◇ 志願者の大学を見る目も、「どの大学なら入学することができるのか」という視点から「入学した後に、どの大学なら自分に必要なものを与えてくれるのか」という視点になってきているといわれることもあります。また、卒業生を受け入れる社会の側も、出身大学の名前ではなく、実際に何を身につけてきたかに注目するようになってきているようです。

◇ そのように考えると、教育理念や特長なども含め、各大学の教育研究等の状況に関する情報がいかに適切に社会に示されているかがとても重要であり、本機構が行う大学評価が担う役割は、その意味でもますます大きくなっていると痛感します。

◇ 「2007年問題」とは別に、2007～08年にかけては本機構にとっても正念場といえます。本機構が実施する機関別認証評価は、平成18年度は大学・短期大学・高等専門学校を合わせ29校だったのが、19年度には60校と拡大しますし、法科大学院の認証評価についても19年度から本評価が始まります。また、20年度には文部科学省からの要請に基づき、国立大学法人等の教育研究の状況の評価も実施することになっています。

◇ このような業務の増大に適切に対応するため、役職員一同、一層気を引き締めて職務に取り組んでいきたいと思っております。本年も読者の皆様の御理解・御支援、叱咤激励をよろしくお願いいたします。

(Y. H)

(表紙の作品の解説)

照明は、私たちが暮らしていく中でなくてはならないとても大切で必要なものですが、実際は存在感が薄くあることが当たり前で、その大切さや有り難みを私たちは忘れてしまっています。

そこで、スイッチを入れることで明かりがつく従来の照明器具ではなく、今までにない、楽しみながら自らが光を操るかのような体験ができ、その存在を知ることのできる体験型照明器具のデザインを試みました。

この作品の特徴は、照明器具と電球は単体で持ち運びが可能、閉じた状態から本を開くかのように表紙をめくると中から立体が飛び出し、外面にあるスリットから入った光が立体にあたり反射・屈折がおこり光を放つのです。

作品を制作する過程で、照明は置かれる空間・場所・時間や素材によって異なった表情を見せてくれることを学びました。そして、そんな未知なる光の魅力をこれからも形にし表現していきたいと思っています。

星 綾香
(平成18年3月学位取得)

編集 独立行政法人大学評価・学位授与機構広報委員会

連絡先 〒187-8587

東京都小平市学園西町1-29-1

独立行政法人大学評価・学位授与機構管理部総務課

電話/Fax 042-353-1516/1552

ホームページアドレス <http://www.niad.ac.jp/>